

地域母子保健福祉情報紙 No.262

公益社団法人 母子保健推進会議

親子保健

お や こ ほ け ん

定款第 1 章第 3 条 目的 (抜粋)
国及び地方自治体
関係諸団体と連携協力して
母子保健の重要性を啓発し
母性の健康を守り たかめ
心身ともに健全な児童の
出生と育成に寄与してまいります

乳幼児の発達と親子のコミュニケーション支援

国際講演会
開催



左から高橋睦子先生、カイヤ・プーラ先生、佐藤拓代会長

日本学術振興会科研費助成事業「子育て支援における予防の重点化」(研究代表者：高橋睦子吉備国際大学教授)。

本会議では、乳幼児期からの切れ目のない支援を事業の柱の一つとしているが、中でも今年度は「関係性の築き」をテーマとして研修、教材制作等行っており、本国際講演会もその一環として実施した。

乳幼児の心身の発達に親と子のコミュニケーションは大きく関わる。支援者として親子にどのように関わりサポートしていくか、子育て世代包括支援センター等において親子と関係性を構築し寄り添っていく際のポイントを学ぶことを目的とした。

利用者目線の支援と親子の関係性構築の推進のために

講演会では、まず本会議佐藤拓代会長が

趣旨説明を行った。

わが国では、母子保健法と地域保健法に基づき全国自治体において基本的には同じメニューが親子に提供されているが、子どもの虐待に代表される親子関係の問題の予防・早期発見・対応は、妊娠期から子育て期の大きな課題である。母子保健では妊娠届出、乳幼児健診でのスリーニングとそこで把握された母子への支援を行っているが、親子関係の視点では、親子の生活は日々変化するため、一時のスリーニングでは把握に限界がある。

現在全国展開が目指されている子育て世代包括支援センターでは、誰でも困難があるという認識のもと、親との信頼関係を構築し、サービスごとの点ではなく面としての、利用者目線でのアプローチが開始されつつあるが、さらに、親との信頼関係に基づいた、親子の関係性を促す支援へのシフトが必要である。

子育て世代包括支援センター等では、妊婦に対して全数面接を実施している自治体が増えた。しかし、家族(特に夫)に会えているか、後の面談につながっているか、面接の時間が十分確保されているか、性的こと等がじっくり話せる環境(個室等)が、妊娠・出産・子育ての伴走は同じ支援者

平成30年12月13日(木)、新宿文化センター(東京都新宿区)ホールを会場に、フィンランドから乳幼児精神保健の第一人者である児童精神科医のカイヤ・プーラ先生(タンペレ大学医学部教授)を招聘して、国際講演会「乳幼児の発達と親子コミュニケーション支援～フィンランドの乳幼児精神保健とネウボラに学ぶ～」を開催した(主催：本会議、共催：厚生労働科学研究「健やか次世代育成総合研究事業・子育て世代包括支援センターの全国展開に向けた体制構築のための研究」(研究代表者：佐藤拓代会議会長)、

今月のページ

- 乳幼児の発達と親子のコミュニケーション支援国際講演会開催/情報スクランブル … 1～4
- 平成30年度「健やか親子21サロン」開かれる …………… 5
- 「健康増進法の一部を改正する法律」の施行について/妊娠期の禁煙啓発教材のご案内
- 紙上セミナー：8020の里づくり「むし歯予防の第一歩は、感染予防」 …………… 6～7
- 「第5回 困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会」ひらかれる
- “子育て支援 Let’s Talk! 子どものことを話そう”の実践/日本宝くじ協会助成/編集帖 … 8